President's Message

CSR レポート 社長メッセージ

エネルギーの安定供給は私たちの果たすべき社会的責任の原点です

私たち沖縄電力は、沖縄の重要なライフラインを担う総合エネルギー事業者として、お客さまの暮らしや経済活動を支えていく上で必要不可欠なエネルギーを安定的に供給することを基本的使命に、事業活動に取り組んでおります。

当社の電気事業は、東西1,000km、南北400kmにおよぶ沖縄県全域を供給区域としており、電力の安定供給を図るため、これまで発電所の建設、送電線路の2ルート化や送配電設備の自動化など、電源開発・設備構築を行ってまいりました。日々の業務においても、365日24時間の給電監視、巡視活動などを通して安定供給に努めております。

また、台風による長時間停電の解消に向け過去の台風被害分析を踏まえた配電設備の強化、地震・津波等の自然災害に強い設備形成、被災時における迅速な復旧に向けた盤石な体制の構築に取り組んでおります。

ガス供給事業においても、ガス設備の信頼性向上に向けて、設備の運用・保全の強化に努めるとともに、供給支障時における更なる早期復旧体制の検討、強化に取り組んでおります。

当社を取り巻く経営環境は、電気事業において小売全面自由化による新電力の参入が進み、また、ガス事業やエネルギーサービスプロバイダ事業（ESP事業※）においても他事業者との競合が生じるなど、沖縄県内のエネルギー市場の競争環境が確実に進展しております。足元では新型コロナウイルス感染症による県経済への影響が拡大しエネルギー需要への影響もありますが、中長期的には、県内においては大規模都市開発計画等による新たなエネルギー需要も見込まれています。

※エネルギーサービスプロバイダ事業（ESP事業）：お客さまの熱源設備を、エネルギー事業者にて施工・所有・維持管理を行い、電気やガスを空調用冷水や給湯用温水、蒸気等に加工して供給する事業

このような中、これからもお客さまに喜んでいただけるメニューやサービスをご提供できるよう積極的に取り組んでまいります。今回のCSRレポートでは、特集①として当社会員サイト「おきでんmore-E」や新サービス「りっか電化リース」についてご紹介しております。

これからも、基本的な使命であるエネルギーの安定供給を通して社会の発展に貢献することが社会的責任（CSR）の原点であることに変わりはありません。「エネルギーを通して沖縄の力となるために」という基本理念の実現に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。

環境負荷低減に最大限取り組んでまいります

当社は地球環境に対し責任ある企業として、環境問題を経営の最重要課題の一つに位置付け、さまざまな環境活動を推進するため、「沖電グループ環境方針」を制定し、地球温暖化対策、地域環境保全、循環型社会形成などに向けた取り組みを行っております。

国において、2030年の温室効果ガス削減目標（2013年度比26%減）の達成に向けた地球温暖化対策計画が策定されており、電気事業者においては、電気事業全体としてのCO_2排出抑制目標（2030年度に排出係数0.37kg-CO_2/kWh程度を目指す）の達成に向けて取り組んでいくこととしております。

沖縄においては、地理的・地形的および電力需要規模の制約などから、水力・原子力発電の開発が困難であり、電力のエネルギー源を化石燃料に頼らざるを得ない状況です。なかでも、地政学的リスクが化石燃料の中で最も低く、現状において安定供給性や経済性に優れた石炭火力発電が、沖縄における電力の安定供給や料金の低廉化に引き続き重要な役割を担います。一方、CO_2排出量が多いという課題に対しては、LNG（液化天然ガス）を燃料とする吉の浦火力発電所の着実な運用を通して対応してまいります。併せて、県内の建設廃材をリサイクルした木質バイオマスを具志川石炭火力発電所に加えて今後は金武石炭火力発電所でも利用拡大し、CO_2排出量の抑制に努めてまいります。更に、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー発電設備の着実な運用や、再生可能エネルギーの更なる活用に向けた取り組みなど、当社が取り得る地球温暖化対策に最大限取り組んでまいります。

また、当社グループは電気とガスの両方を供給できる強みを活かした「総合エネルギーサービス」の提供を通して、多様化するお客さまのエネルギーに対するニーズにお応えするとともに、石油系燃料に比べ、燃焼時CO_2排出量が少ないクリーンなエネルギーである天然ガスを、発電用だけでなく、重油やLPガス等を利用するお客さまの燃料転換に活用することを通して、沖縄県の省エネ・省CO_2に貢献してまいります。

今回は特集②の中で、当社の環境負荷低減に関する様々な取り組みについてご紹介しております。

今後も、環境に関する法規制等の遵守はもとより、環境負荷低減に向けた取り組みや環境に配慮した活動を積極的に展開してまいります。

ステークホルダーの皆さまとの信頼関係の構築に努めます

沖縄県を唯一の供給区域とする当社は、地域の皆さまからのご理解・ご協力をいただきながら事業基盤となる供給設備を構築しているなど、他業種にも増して地域密着型の企業であり、創立以来、「地域とともに、地域のために」をコーポレートスローガンとして地域社会への貢献に積極的に取り組んでまいりました。

小売全面自由化により競争環境が確実に進展する中、当社としては、ユニバーサルサービスを維持し、その役割を担っていくことは重要な使命だと考えております。

また、当社グループはお客さま・地域社会に「安全・安心」を提供し、その積み重ねの結果として得られる「信頼」の確立に向けて最大限努力してまいります。

これからも「信頼され、選択していただける企業」であり続けるため、私たちは「法令遵守および企業倫理の徹底を基盤とした透明性のある分かりやすい経営」を実践し、双方向のコミュニケーションを通して、ステークホルダーの皆さまの声に真摯に耳を傾け、誠実にお応えするとともに、社会の持続的発展に貢献してまいります。

皆さまにおかれましては、本レポートを是非ご一読頂き、当社のCSRに対する基本的な考え方や取り組みへのご理解を賜りますとともに、忌憚のないご意見をお聞かせいただくことで、今後ともCSRへの取り組みをより一層充実させていきたいと考えております。

2020年9月

沖縄電力株式会社
代表取締役社長　本永浩之